

あいみ富有の里

令和2年 3月 2日発行
発行元
あいみ富有の里地域振興協議会
広報誌編集委員会
問い合わせ先 64-3504
fuyuu350464@yahoo.co.jp

~広報誌 第138号~

富有の里！2019年度

~活動報告~



春祭り



都市部公民館交流



敬老会



盆花市



エゴマ栽培(成果品)



運動会 2年連続中止！



小学校下校時見廻りパト



笹まきづくり



米粉餅配布



合同いきいきサロン

その他の活動

- ・グラウンドゴルフ交流会
- ・まちの保健室
- ・朝鍋ダム管理業務委託
- ・交通安全運動
- ・イルミネーション装飾
- ・不法投棄監視パトロール
- ・南部中学校防災訓練協賛
- ・通学路除雪支援・広報誌発行

労力・経費少なく 高齢・兼業に好適



南部町産えごま油を薦める宮脇さん

えごま油は南部町賀野地域交流拠点施設「えんがーの富有」や東京のアンテナショップなどで販売



【鳥取支局】「水稻の代替作物としてエゴマは適している」と話すのは、南部町賀野地区の「あいみ富有の里地域振興協議会」の中井義宏さん(70)。同協議会では、遊休農地の活用を目的に2016年からエゴマ栽培を推奨しており、現在は同地区

遊休農地活用のエゴマ栽培

南部町「あいみ富有の里地域振興協議会」

を中心に町内約1200㍍の農地で作付けされている。

中山間地域は農地の集約化が困難で、農地の荒廃に歯止めをかけることが課題だ。「農業の担い手がいない中、高齢や兼業の農業者でも取り組みやすいような作物に着目した」と中井さん。エゴマは栽培にかかる労力や経費が少なく、鳥獣害や病虫害を受けにくいという。また、水稻では重要になる水源確保の必要がない。

同協議会会長の宮脇敏泰さん(69)は「えごま油は、良質な脂肪酸を多く含む健康食品としても注目されている。エゴマが地域に浸透すれば、住民の健康増進にも役立てられるのでは」と話す。

同町では地域特産化を目指す「地域奨励作物」にエゴマを認定している。中井さんは「目標は作付面積を500㍍に拡大すること。行政や農業関係機関にもこの取り組みを後押ししてもらえらるよう呼びかけていきたい」と話す。

(小竹)

農業共済新聞2020. 2. 5付け掲載

協議会では遊休農地解消・特産品化を目指しエゴマ栽培を奨励しています。

富有の風

昨年は全国的に四季を通して気温がかなり高くなりました。この傾向は今年になっても続き、暖冬となり記録的な雪の少ないスキー場泣かせの冬でした。夏には東京オリンピックが開催されますが、現在新型コロナウイルスが猛威を振るい、日本でも感染者が多数発生しており大変気になります。

昨年は台風第15、19号が東日本を襲い甚大な被害が出たのはまだ記憶に新しいところです。今年も元号が変わったばかりですが大荒れとなっています。まもなく農作業がはじまり忙しくなりますが、自然災害やコロナウイルス等もない平和な日本であって欲しいものです。(U)

行事案内

★視察研修

日時:3月12日(木)

視察先:若桜町・八頭町の行政・生産者他

内容:遊休農地解消の先進地からヒントを得る

★専門部会開催(個別に連絡)

<編集後記>

今年度の現委員による広報誌は、本号が最終号となります。毎年毎号とも似たような内容になり、どうやって紙面に変化をつけるか頭を悩ましながら作成しました。如何だったでしょうか。(Y)